

埼玉県景気動向指数

2018(平成30)年10月分の概要

平成30年12月27日

埼玉県総務部統計課

1 基調判断

- 景気動向指数（C I 一致指数）は、悪化を示している。

2 指数の動き

- 10月のC Iは、先行指数：98.2、一致指数：118.9、遅行指数：121.4となった。
(平成22年=100)
- 先行指数は、前月と比較して4.1ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。3か月後方移動平均は、1.44ポイント上昇し、4か月ぶりの上昇、7か月後方移動平均は、0.90ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- 一致指数は、前月と比較して0.5ポイント上昇し、6か月ぶりの上昇となった。3か月後方移動平均は、0.90ポイント下降し、4か月連続の下降、7か月後方移動平均は、0.19ポイント下降し、2か月連続の下降となった。
- 遅行指数は、前月と比較して1.5ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。3か月後方移動平均は、0.43ポイント下降し、5か月ぶりの下降、7か月後方移動平均は、0.07ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。

3 一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C9: 県耐久消費財出荷指数	0.64	C2: 県所定外労働時間指数(調査産業計)	-0.59
C8: 県生産財出荷指数	0.52	C4: 県有効求人倍率(除学卒、就業地別)	-0.53
C6: 県建築着工床面積(非居住用)	0.37	C7: 県百貨店・スーパー販売額	-0.21
C1: 県生産指数(製造工業)	0.35	C3: 県投資財出荷指数	-0.11

※ C5: 県雇用保険初回受給者数(逆サイクル)は、寄与度なし(0.00)。

※ 各個別系列のウェイトは均等です。

4 一致指数の推移

